

共同デスク

東京国公だより 13号
関ブロニュース 8号

【電話】 03-3501-6973

【FAX】 03-3500-4391

【Eメール】

office@tk-kokko.org

URL: <http://tk-kokko.org/>



JAL、IBMの原告も加わり、熱き怒りの合唱



主催者代表挨拶・岡部勘市委員長

不当な分限免職を受けた社保庁職員525人の復職実現を
12月2日139人が結集

7都道府県で

裁判闘争

日本年金機構発足にもなつて、旧社会保険庁職員525人が分限免職(整理解雇)を受けて(2009年12月31日)から丸7年が経過しようとしています。解雇された525人は人間の尊厳と生活の糧を奪われ、過酷な日々が続く中の闘争でした。現在、裁判闘争で言えば7都道府県で29人の原告が解雇撤回、職場復帰を目指して闘っています。

北海道、秋田、東京、愛知の原告が各地裁で、広

島、愛媛の原告が各高裁で、京都の原告が最高裁に上告して闘っています。

会場いっぱい

あふれる熱気

こうした中、12月2日全労連会館ホールにて「社会保険庁不当解雇撤回12・2決起集会」が開催さ

れました。

主催者挨拶に立った岡部勘市委員長は、旧社保庁525人に対する分限免職の不当性を厳しく断罪したうえで、前日1日に行われた東京地裁での公判にふれ、国側の証人が原告代理人の質問に答弁不能に陥っている状況を指摘し「いままさに押せ押せの状況を作り出している」と

強調し、さらなる運動の強化をよびかけました。

原告の東京の鶴田照二さんは「苦しい毎日だが、絶対勝利して職場復帰を果たすという強い気持ちを持ち続けた」と、その決意を語りました。

また11月16日、大阪高裁から不当な判決を受けた京都の川口博之さんは「不当判決に強い怒りを



この日の参加者は139人。この中にはJAL原告10名、IBM原告2名が駆けつけ、連帯・共同を表明してくれました。又日本共産党の高橋千鶴子衆議院議員、山添拓参議院議員も駆けつけていただき激励の言葉をいただきました。

禁じ得ない。しかし絶対負けられない。引き下がれない。闘い続けます」と強い決意を述べました。

原告・全厚生組合員による合唱構成劇も演じられ、激しい中にも潤いのある熱い集会となりました。

公務員賃下げ訴訟不当判決

公務員賃金引下げ違憲訴訟控訴審は、12月5日、東京高等裁判所で、川神祐裁判長より控訴を棄却するとの不当な判決が出されました。2012年4月～2014年3月までの2年間、平均年7・8%もの大幅な賃下げが、議員立法により押し付けられました。

判決は「人事院勧告は国会を法的に拘束できず、国会は人事院勧告通りの立法が義務付けられているものとは言えない」「(平均7・8%もの減額について)許容し得ないほど著しい不利益とまでは言えない」という全く容認することのできない不当なものです。

関東ブロック国公春闘討論集会案内

【日時】 12月16日(金) 13時30分～
12月17日(土) 12時00分まで

【場所】 水上ホテルじゅらく
(群馬県利根郡水上町湯原665
電話0278-72-252)

【幹事会】 関ブロ役員は12時00分集合。
幹事会を開催します。(昼食
を用意します)

【規模】 60人

【要請数】 県国公・単組各3名
*関ブロ役員除いて、3名の
参加組織をお願いします。

【参加費】 12,000円(総会代議員数は関
ブロで負担。その他は県、単組負担) *代議
員数=新潟、茨城、栃木、長野、群馬、山梨、埼
玉、東京、千葉、神奈川各県国公2名、法務、労
働、司法、国交、医労、大学各2名、国税及び税関
は1名) *役員=関ブロ役員は原則全員出席願いま
す。ただし、代議数には含みません。